

ウェルカムパーティー

今年も小学校・中学校の発表会が2月17日に開催されました。多くの方々が感動されたことだと思います。ボストン東スクールからのお客様（ガーランド理事長をはじめとした先生方と保護者代表の方合計5名）も発表会を楽しめ、感謝の言葉を残して帰国されました。

また、前日の2月16日には、武蔵野東学園の連合後援会と武蔵野東学園の共催により、ウェルカム・パーティーが開催されました。連合後援会からは、各園校の会長、副会長が代表として出席し、歓迎の挨拶や記念品の贈呈等を行いました。これに対して、ボストンから初めて来られた保護者代表の方から、「武蔵野東学園がボストンに来て教育を始めてくださったことにとても感謝しています。そうでなければ、今の娘も自分もなかった」という趣旨のお話があったのがとても印象的でした。パーティーでは、その後、英語、日本語が入り乱れての楽しい交流が進み、また日米間の絆が一段と深まつたのでないでしょうか。（Y）

ご参加してみませんか

高専オーブンスクール～蕎麦打ち

縄文遺跡からも蕎麦花粉が見つかるそうです。日本の家族は古代から蕎麦を打ち、命を今に繋いできたのですね。東おやじ蕎麦打ちの歴史も古く、今年で10年。伝統は素人おやじから素人おやじへ、既に一昔の間受け継がれてきました。そんな稀有な技の伝承をさらに世代を超えて楽しもうとする試みが、高専蕎麦打ちオーブンスクールです。

年に3回高専調理室で、生徒や卒業生を相手におやじが蕎麦打ちをレッスンします。粉に水を回し、手でこね、棒で伸ばし、包丁で切り、茹でていただくまで、全工程を参加者皆が実体験します。（いびつでも出来立ては格別！）生徒も親父も先生も、調理コースボランティアの生徒さんも、皆が助け合いながら何かと一緒に作り上げ、一緒にいただく。東らしい集まりがここにあります。

本来生徒のためのオーブンスクールですが、実はおやじが先輩おやじにいろいろ教わり相談できる、大事な場でもあります。皆様、これかも長~いお付き合いを。（I）

幼稚園 コール東～卒園コンサート

母親コラス コールひがし恒例の、卒園コンサートが2/24に開催されます。卒園を間近に控えた年長さんと一緒に、発表会で演奏した曲などを歌います。部員だけではなく、1月からは、年長児のお母様を中心とした100名を越える参加希望者と一緒に、毎週練習を重ねています。

今年の年長さんのハーモニカ演奏は「今の你を忘れない」という曲でした。シンプルな歌詞が心に響く曲です。卒園コンサートでは、依田先生の素晴らしいアレンジ版を披露します。原曲とはまた違ったハーモニカが感じられる仕上がりになっています。また、子どもたちへの応援ソングとして、アニメ「Tomorrow」をお母様方の歌声で披露します。自然と元気が湧いてくるような、とても明るい曲です。

次の扉を開いて、新しい世界へと進む年長さんの背中を優しく支えたい。そっと押してあげたい。そんな想いに溢れた歌のプレゼントを、心を込めてお届けしたいと思います。（年中 O）

編集後記

皆さん、今年度最終号はいかがでしたか？1年間を締めくくる発表会と卒業を迎える保護者の方々の思いを中心に紙面を構成いたしました。子どもたちのたくましく成長する様子や、学園生活の思い出話など保護者の方々の思いがたくさん伺えましたね。

来年度も東学園ならではの楽しいエピソードをたくさん掲載していくきますので、楽しみにしていてください。（I）

| ●編集委員会（編集スタッフ） |
|--------------------|
| 高等専修 古谷道代 伊藤千鶴 |
| 中学校 早川康子 尾崎直子 |
| 小学校 飯塚希美 菅野真貴子 |
| 幼稚園 保谷梨紗 工藤阿貴 |
| 高等専修 家住隆士 白井均 |
| 中学校 松井幹和 内藤忠男 |
| 小学校 咲間全雄 遠藤崇浩 荒井秀伸 |



発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 第68号 平成28年3月9日発行



武蔵野東学園 連合後援会だより



今年度最終号は新年行事や発表会の様子、そして目の前に迫った「卒園・卒業」特集です。「卒」と言うとなんだかちょっと寂しい響きもありますが、これも一つの節目。夢も新たに次のページへと進んでいく子どもたちを暖かく見守ってお祝いしましょう。後援会だよりも次号から新年度。編集委員一同、気持ちを新たに紙面の充実に努めてまいります。（U）

年末年始イベント特集

むらさき会新年会

1月16日（土）、むらさき会新年会が盛大に開催されました。中学校「北原記念体育館」が会場となって今年で二回目。参加人数は約500名と例年通りで、場所が変わってもこの新年会を心待ちにして下さっている方々の気持ちは変わりないと改めて思いました。広い体育館では移動がしやすく、クラス、学年、園校を越えた保護者、先生方との交流する姿をちらちらで見ることができました。参加者の皆様の笑顔を見ることが執行部一同何より嬉しく、パワーをたくさんもらいました。

先生方はいつもフットワークが軽く、お忙しい中にも関わらず会場準備から片付けまで大変お世話になりました。保護者の皆様にもご協力いただきありがとうございました。皆々様のチームワークのお陰で会もスムーズに進行していくことができ感謝申し上げます。これからも頑張りたい団結力で大いに盛り上げて参りましょう。

（高3 S）



成人を祝う会

平成28年1月9日、高等専修学校において第26期卒業生「成人を祝う会」が開催されました。卒業から2年近くが過ぎ、卒業生は学校や職場で忙しい日々を送っていますが、母校で行われるお祝いの会に多くの卒業生・保護者が訪れ、先生方・むらさきOB会代表の皆様にもご出席いただき、総勢136名の賑やかな会となりました。午後3時、清水校長先生のご挨拶と乾杯のご発声で会が始まり、軽食・歓談を経て、元担任・副担任の先生方からお言葉をいただいた後で卒業生からの近況報告がありました。

今現在、学校や職場で頑張っていることや余暇の過ごし方等、充実した日々を送っている様子が窺えました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に懐かしい校歌を歌って閉会となりましたが、皆名残惜しい様子で、時間が許す限り先生方や友達と話したり写真を撮ったりして楽しんでいました。お忙しい中ご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。

（26期卒業 M）

幼稚園 餅つき

師走の青空のもと、昨年12/15に年長・年中の「おもちつき」が開催され、我々お父さんもお手伝いに参加しました。

大きな臼のまわりに並んだ子どもたちが「もちごめさん！」と呼びかけると、蒸したてのもち米が登場し待ちに待った餅つきがスタートしました。杵を臼に押し付けるように根気よくもち米をこねると次第にお米粒がまとまり始め、子どもたちの「ヨイショ！」の元気な掛け声に合わせて力いっぱい杵を振りかざし、ようやくお餅のできあがりです。

もち米の試食やお餅になるまでの過程をしっかりと観察させること、また、地域の伝統文化である武蔵野保存会のデモンストレーションなど、単なるパンでなく教育の一環として餅つきを行うことに東幼稚園らしさを感じました。

昼時には、つきたてのお餅や手作りの豚汁など先生方の心温まるおもてなしに感謝しながらお互いの労をねぎらいました。慣れない作業で体を使いましたが、何よりも子どもたちの笑顔に癒された一日でした。（年長 K）

幼稚園

お母さん、どうだった？去年よりカッコよかった？感動した？

終演後、何度も何度も息子から聞かれた言葉。最後の発表会を迎えるにあたり、並々ならぬ思いがあったようです。毎日30分以上のハーモニカ練習。縄跳びは、毎日様々な技を練習し、習得すると、自己記録更新に向けての熱心な取り組み。そして、本番数日前からこれまでのビデオを見返してイメージ作り。全て自主的に取り組んでいたことに驚き、感心しました。

思い返せば、年少時には側転を真似し、年中時には縄跳びを頑張っていた息子。どれも、年長さんへの尊敬や憧れから始まったことでした。それだけ大きな存在の年長さんになった今、今度は僕がそうなる番だと思ったようです。この3年間、発表会という本物の大きな舞台を経験したことは、息子にとって大きな自信となりました。緊張しながらも輝く笑顔や達成感溢れる表情が何よりの証です。

年少さんの可愛らしさ、年中さんの一所懸命さ、年長さんの格好良さ…どの子の姿も、見ていて保護者に感動を与えたことでしょう。

子どもたちに寄り添い、励まし、発表会という素敵な場所を作ってくれた先生方にも感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。（年長 T）



発表会

中学校

緞帳が上がり、舞台に立つ小さな息子を一生懸命に捜した初めての発表会から十年。たくさんのお友だちの中で、びっくりしたような面持ちで立っていた光景を、今でも鮮明に覚えております。そして、今回で最後の出演となってしまいました。

何度も見せて頂いても、開演するとあっという間に時間が過ぎてしまいます。息の合ったダンスに、チームワークの良い体育、心のこもった音楽と、この日のためにたくさんの練習を重ねてきたことでしょう。その自信を胸に、緊張も力に変えてどの子も輝いていました。これも、先生方の熱心なご指導と陰ながら支えて下さった方々のおかげだと思っております。大きな舞台の上で、

観客席から自然に湧き上がる手拍子や大きな拍手を送られ、努力する価値観を体感し成長させて頂いたことに感謝するばかりです。（中2年S）

小学校

娘が東っ子の仲間入りをしてから十ヶ月、今回初めて発表会に参加させていただきました。

この日を迎えるにあたり、先生方の熱意あるご指導の下お友だちと多くの練習を積んできました。練習で思い通りに出来ない苛立ちやフレッシャーに押し潰されそうな娘を先生方は、絶えず励まし支え導いて下さいました。そして、娘がこの舞台に皆と一緒に立てた事を大変嬉しく思いました。本当に感謝の念に堪えません、有難うございました。主人も私も客席から手に汗握り緊張して観ておりましたが、お友だちと一緒に頑張っている娘の姿を見て胸が熱くなりました。日頃の育児の悩みなど吹き飛ばす程でした。

どの演目も大変素晴らしい感動し、さすがは伝統ある発表会だと強く感じました。

これからも娘には、皆で作り上げる喜びと大切さを学び育んで欲しいと思います。（小1 S）

幼

ぴかぴか幼稚園から約1ヶ月の間毎朝泣いてバスに乗ることを拒み先生方を困らせた息子も、今ではこのまま卒園せずにずっと通いたいと言うほど幼稚園が大好きになりました。

3年間を振り返ると、運動会や発表会の一生懸命な姿、初めて家族と離れたお泊まり保育後の誇らしい顔、たくさんの廃品製作、様々な出来事が思い浮かびます。大切な時間でした。温かく子どもたちを見守ってくださった先生方、本当にありがとうございました。

私自身も現在高1、小6、年長の子どもと一緒に過ごした幼稚園生活が終わります。親子共に成長させていただいた東学園の益々のご発展を心よりお祈り申します。

幼稚園後援会副会長 渡辺華世

小

この春、長女は武蔵野東中学校を、次女は武蔵野東小学校を卒業いたします。二人ともに学校で多くの経験をして成長する中で、たくさんの笑顔を見せてくれました。

私は小学校で三年間、後援会活動に参加させていただいたことで、娘たちの笑顔は、A組からE組までの多くのお友だちと、建学の精神を守りながらも新しいことにチャレンジする素晴らしい先生方、そして、それをサポートする多くの素晴らしい保護者の方々に守られているということを多くの場面で感じられ、本当に幸せだったと思っております。

娘たちは東学園での経験を宝物として、これからも前に進んでくれるでしょう。

今まで私を支えてくださった全ての皆様と、東学園とのご縁を繋いでくれた娘たちに感謝すると共に、これからも多くの方が東学園とのご縁の中でたくさんの幸せを感じられるように願っております。

小学校後援会副会長 増田 久美子

卒業にあたって

中

7年前、長男の中学校受験を考えていた時に信頼していた数人の知人からすすめられたのが武蔵野東でした。

次男の卒業までの6年間を過ごさせていただきましたが、先生方の目の行き届いたご指導、充実したカリキュラムや学校行事、そして混合教育という恵まれた環境で、息子たちは素晴らしい人生の基盤を作ることができました。息子たちだけでなく私たち家族にとっても東の影響は大きく、心の豊かさという何よりも大切なものを学びました。

お世話になったすべての方々に、心から感謝申し上げるとともに、東での学びをこれから的人生に活かすことをお約束いたします。本当にありがとうございました。

東学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

中学校後援会副会長 岡 順子

高

多動で一時も目が離せず、かたことでしか話せない自閉症の娘を、これからどうやって育てていこうと悩んでいた頃に東学園を知りました。幼稚園からお世話になり早13年が経ち、いよいよ卒業の日を迎えることになりました。

娘は、先生方の温かくきめ細やかなご指導と、お友だちの優しさに支えられ、毎日楽しく学校に通うことができました。感謝の気持ちで一杯です。

私も、むらさき会と後援会のお手伝いを通して、多くのことを学ばせていただきました。先生方と保護者の皆様のお力添えをいただき、楽しく活動してこられました。誠にありがとうございました。

親子共々、充実した年月を送ることができました。学園での素晴らしい思い出を胸に、前に進んで行きたいと思います。

最後に、東学園の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

高等専修学校後援会 副会長 前原かおり